

| | | | | | | |
|-------------|-----------|-----|--------------------|------|--------|---------------------------------|
| 12月度例会 山行報告 | | | 報告者 | 藤田健治 | 参加メンバー | CL 竹内幹雄、SL 板倉英夫 藤田健治、川南憲太 4名 |
| | | | 報告日 | 12/7 | | |
| 山域 | 信州 | 山行日 | 03年12月5日(土) 20:00~ | | | |
| 山名 | 御嶽山 3062m | | 03年12月7日(日) 16:00 | | | |

| | | |
|----------|----------------------|---|
| 山行目的 | 冬山雪上訓練 | コースタイム(天候:天気図記号) |
| 配布先 | <p>ルート図(地図を見て正確)</p> | 天候:曇り 12/5 20:00 刈谷発 21:30 御嶽ロープスキ-場 仮眠 雨後曇 12/6 7:50 休業スキー場を 出発 10:00 黒沢口小屋 7合 11:00 7.5合目設営 風雪 12/7 7:00 出発 7:30~8:30 女人堂 滑落停止訓練 9:30 撤収下山 11:30 駐車場着 |
| 集会:12 | | |
| 山行:1 | | |
| 原紙:集会担当者 | | |

山行報告

事故のあった停止中のゴンゴラ横をゆっくりと登りだす。昨夜来の雨は降りやまず雪の無い閑散としたスキー場は我々の気持ちを湿らせばかりである。

黒沢口小屋手前あたりからは冷たい曇りに代わり、リーダーの判断で登山路途中の7.5合目に設営を決めた。

7日は4:30起床で、7:00出発 風雪の強い女人堂周辺で雪上訓練を開始する。新人の川南君を中心に アイゼン歩行 キックステップ 滑落停止 を繰り返し設営地に帰る。

撤収を終え下山にはいると天気が回復してきて下降のピッチが上がり全員無事に駐車場に到着した。

例年にならい、木曾温泉で汗を流し上松の「武しろ」で味噌鍋焼きうどんを堪能して一路刈谷に帰着。

昨今の暖冬で、この時期いい按配の雪面を確保するのがなかなか難しくなってきたが今回は残念ながらその踏襲に成ってしまった。

登山技術の習得は反復訓練の積み重ねが何よりであるが、山岳部として十分な雪が確保された春先に、スキー登山とミックスした雪上生活例会を計画したいものである。

リーダー所見

昨日の設営時にスノースコップをテント横に無造作に置いたのが悪く撤収で探したが見つからない。夜中の寒冷前線通過時の強風に吹き飛ばされたものと思われる。汚点を残してしまったがもう一度気持ちを引き締め参加者全員で27日からの冬合宿にのぞむ。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認
(リーダー)

竹
03/12/07
内

作成
(報告者)

藤
03/12/07
田